パルシステムガイド 2024

pal*system guide 2024

もっといい明日へ 超えてく

pal*system

助け合い寄り添う存在に

近年、私たちのくらしを取り巻く環境は、甚大な被害をもたらした1月の能登半島地震をはじめ、感染症拡大や人権の抑圧、気候変動など、さまざまな困難を抱えています。これらは多くの人々に政治的、経済的な影響を与え、将来への不安を生じさせました。社会には不寛容の傾向が強まり、あらゆる階層で対立や分断が相次いでいます。私たちは、いまこそともに助け合い、寄り添う役割が不可欠であることを強く感じています。

国内では、急速に進む少子高齢化で労働力不足がさらに顕在化しました。賃金上昇は物価高に追い付かず、人々のくらしは厳しさを増しています。これら生活課題だけにとどまらず、気候変動やプラスチック海洋汚染をはじめとする環境対策や、軍事侵攻や市民の抑圧による平和・人権問題など、私たちが抱える諸課題はいずれも重要な局面を迎えています。

こうした社会課題解決の要請にこたえるべく、パルシステムグループは「パルシステム2030ビジョン」で定めた5つのキーワード『たべる』『つくる』『ささえあう』『きりかえる』『わかりあう』に基づき、持続可能な社会の実現に挑戦しています。

その一環として2023年9月「一般財団法人パルシステム若者応援基金」を設立しました。家庭環境や経済困窮などさまざまな事情で進学や学業の継続が困難な若者へ学びを支援します。奨学金給付だけでなく生活や進路の相談により精神的にもサポートする伴走型であることが特徴で、組合員からの募金は年間5千万円を超えています。

組合員の力は、能登半島地震でも役立っています。緊急募金は17万人超から2億6千万円が寄せられ、義援金のほか支援団体や産直産地へ贈呈し、各地で活用されています。職員も、生協や地元支援団体と協力しながら宅配や生活再建、介護福祉などの支援に派遣し、地域の復旧と復興の一助となっています。

いずれの取り組みも、多様な分野から多くの共感と感謝が寄せられています。こうした助け合いの組織である協同組合への期待の高まりは、国連が2025年を2回目の「国際協同組合年」にすると宣言したことにも表れています。これからも事業と運動の両輪のもと、地域に根をおろし、心豊かなくらしと共生の社会をめざす決意です。

課題を解決する機能として、また社会的インフラの機能として、みなさまとの強固な信頼関係のもと、資源循環型の持続可能な社会づくりをさらに力強く進めていかなければなりません。誰もが安心してくらせる社会づくりへ、ともに進んでまいりましょう。

代表理事
理事長　大信（おおのぶ） 政一（まさかず）

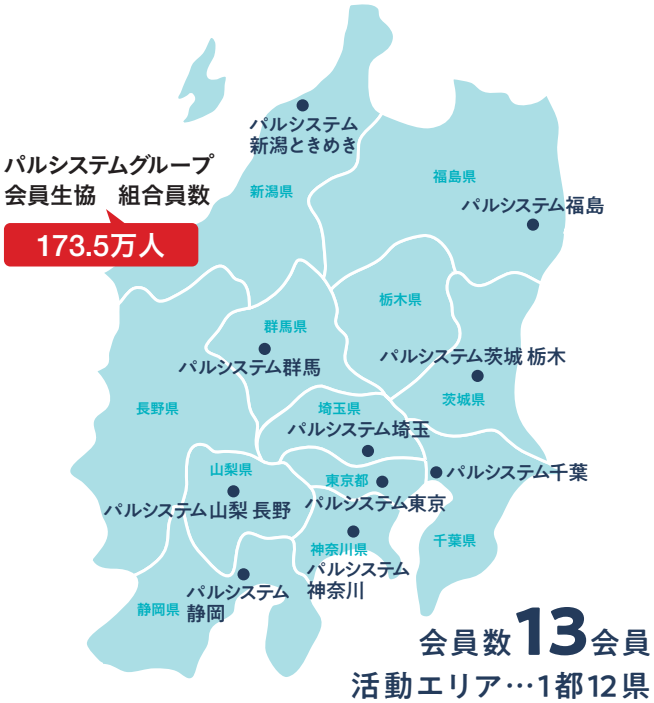
代表理事
専務理事　渋澤（しぶさわ） 温之（あつし）

パルシステムは「組合員」一人ひとりが運営に参加する「生協」です。

生協は非営利の協同組織。消費者が互いに助け合いながら、よりよいくらしや社会を実現する「消費者の組織」です。消費者は出資金を出して組合員となり、事業や活動の「運営」や商品・サービスを利用します。運営の主役は「組合員」。パルシステムでは商品の開発改善はもとより、さまざまな取り組みに組合員の声が反映できるしくみや制度を作り、組合員とともに事業や活動を進めています。

生協の「パルシステム」は地域生協として人々のくらしに寄り添う存在です。

「パルシステム生活協同組合連合会」は、首都圏を中心とした地域生協とパルシステム共済生活協同組合連合会が加入する連合会組織。生協の原点である「人と人との助け合い」を大切にし、パルシステムグループの会員生協、子会社とともに、食を中心とした商品供給事業や共済・保険事業、福祉事業、電力事業などで生活に寄り添った事業を進めています。



会員数13会員

活動エリア…1都12県

（宮城県※／福島県／茨城県／栃木県／群馬県／埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県／新潟県／山梨県／長野県／静岡県）

※ 宮城県では「あいコープみやぎ」がパルシステムの商品を取り扱っています。

組織概要
（2024年3月31日現在）

設立

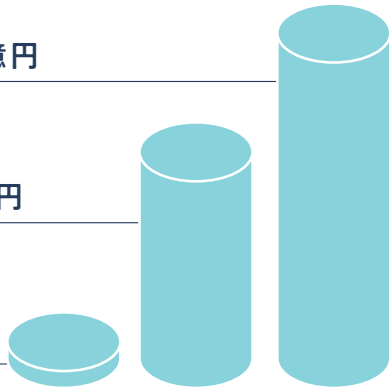
1990年2月9日

※2005年パルシステム生活協同組合連合会へ名称変更

会員生協総事業高
2,541.0億円

供給高
1,761.0億円

出資金
158.7億円



組合員数
173.5万人

パルシステムグループの理念

心豊かなくらしと共生の社会を創ります

心豊かなくらし

物質的な豊かさだけではなく、心の豊かさや安らぎ、くらしの質、人と人との結びつきを大切な価値として求めるくらしのこと

共生の社会

自然と人の共生、地域や属性を超えた人と人との共生、現在と未来との共生をめざし助けあう社会のこと

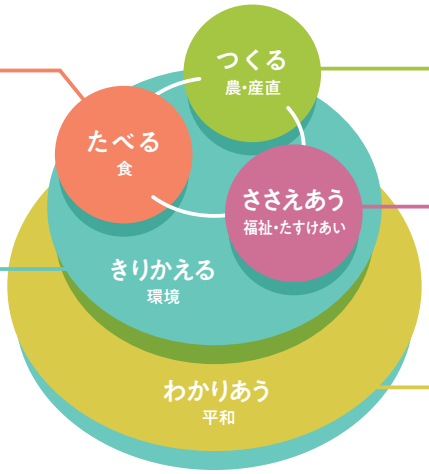
パルシステム2030ビジョン

「たべる」「つくる」「ささえあう」ともにいきる地域づくり

生活協同組合であるパルシステムが、2030年までに取り組むべき課題とめざす姿を、「パルシステム2030ビジョン」として位置づけました。組合員、パルシステムグループ全体で、あらゆる人たちと手を取り合い、ビジョンを実現します。

「たべる」ことの大切さを伝えあい、安心で心豊かな食を地域に広げます。

一人ひとりのくらしを「きりかえ」、多様な命を育む環境を広げます。



地域をともに「つくり」、持続可能な生産と消費を確立します。

身近な「ささえあい」を通して、誰もがくらしやすい地域社会を広げます。

「わかりあう」心を広めて、一人ひとりが大切にされる共生と平和の社会をつくります。

カタログラインナップ

●メインカタログ

くらしに合わせて選べるメインカタログが3種類。くらしの課題解決をサポートします。

『きなりセレクト』は「令和5年版消費者白書」に掲載されました。

食べ盛りの子どもとのくらしを応援。定番食材や、徳用規格が充実

「コトコト」

少人数家族に適した少量規格や、こだわり食材を掲載

「Kinari」

カタログに直接購入点数を記入するだけで注文完了

「きなりセレクト」

●オプションカタログ

ライフスタイルやくらしの課題に応じて選べます。

食品から日用雑貨まで子育てファミリーをサポート

「yumyum for Baby&Kids」

食物アレルギーに配慮した商品を集めました

「ぷれーんぺいじ」

“やわらか食”などの介護食や介護用品をご用意

「ケア・さぽーと」

犬や猫との毎日を安心して送る情報・商品をお届け

「Link Ring Love」

インターネットサービス

※注文はインターネットのほか、注文用紙や電話でも可能です。

パルシステムアプリ

カテゴリ検索や特集から商品を選んで、アプリだけでも注文できます。インターネットだけのお得な商品や限定商品も紹介。旬のレシピや季節の手仕事、イベントメニューなどのお役立ち情報も。

便利な機能がたくさん

- 商品のクチコミチェック
- アレルゲン情報がわかる
- お気に入り登録
- 配達時間の目安がわかる
- カタログを見ながらの注文も可能

webカタログ

スマートフォン上でカタログを見ながら注文。文字も写真も拡大表示ができます。

アプリで完結する宅配サービス

タベソダ

カタログのお届けがなく、「加入」「商品選び」「注文」がアプリ上で完結するスマホ向けサービスです。

毎日の食事作りや子育ての悩みをインターネットで解決

生協パルシステムのレシピサイト

だいどこログ

毎週約60万人が訪れるレシピサイト。カタログに掲載した料理はもちろん、季節感を大切にしたレシピも紹介。必要な材料を注文することもできます。

お気に入り
＼レシピを登録／

クリップボタンをタップするだけで、簡単にお気に入りのレシピを保存できます。

「わくわくキッチン」では、子どもができる料理をわかりやすく紹介しています。

五感を使って「食べる」を楽しむ

パルの手づくりラボ

自家製調味料やフルーツジャム、保存食など、楽しみながら作れる季節の手しごとレシピを紹介しています。子どもの食育にも。

ムリなくムダなく楽しく管理

まめパル

今ある食材がひと目でわかるアプリ。注文した商品が自動でリストにアップされて、在庫の管理が簡単に。お届け商品を使ったレシピが見られるだけでなく、「食材リスト」から材料を組み合わせておすすめレシピの提案もあるので、食材の無駄を減らすのに役立ちます。

毎日の子育てを応援

子育て123

月齢別の離乳食レシピやQ&Aなど、管理栄養士や専門家が監修した記事を掲載する育児情報サイト。赤ちゃんや子どもがいる生活で知っておきたいコラムも掲載。初めての離乳食作りで役立つ「離乳食OK食材」も便利です。

日々の料理や買い物にお役立ち

※インターネット限定のサービスです。

3日分の時短ごはんセット

3日分の晩ごはんが作れる商品とレシピをお届け。時短のコツも学べます。

※写真は一例です。

つくりおき 肉魚菜菜 セット

肉・魚・野菜のつくりおきおかずが4品作れます。作っておけば冷蔵室にいつでもおかずがある状態に!

※写真は一例です。

離れてくらす方にもお届け

あなたのおもいやりを全国にお届け

パルのはこ

離れてくらす大切な方に、パルシステムのいつもの商品を宅配便で全国にお届けするサービスです。毎週の注文と同じタイミングで、注文とお届けができます。

商品注文を手助け

リーディングサービス

目の不自由な方の商品注文を手助けする「声のカタログ」です。カタログを読み上げる声を録音、収録したCDを配付します。

パルシステムの取り組み

もっといい明日へ 超えてく

サステナブルな未来をつくるために、
「超えてく」宣言をしてから3年目。
今年度は、「お米で超えてく」アクションに加え、
新たに「お魚食べよう」を展開中。
パルシステムに関わるすべての人の
思いを集めて、社会を動かしていきます。

1 安全安心で超えてく

私や家族、そして商品づくりに関わる、
すべての人と地域にとっての
安全安心を実現します。

2 ジェンダーフリーで超えてく

社会や身のまわりの、思い込みや
不平等を見直し、新たなくらし提案や、
商品、サービスをつくりあげます。

お米スイッチ

もっといい明日へ
お米で超えてく

もっとお米を食べよう！

「食べる」ことで食卓と産地、人と自然をつなぐ
「お米で超えてく」アクション。
2024年度は「お米スイッチ」というフレーズを使って、
お米やお米製品の利用、予約米の登録、産地交流など、
具体的なアクションへとつなげていきます。

生産者と組合員の約束

予約登録米

GOOD DESIGN AWARD 2023

庄内協同ファーム
(山形県)の生産者
小野寺 紀允さん

JA新潟かがやき
(新潟県)の生産者
青木 等さん

1年分のお米の注文を約束して「生産者の米作りを応援」する「予約登録米」制度は、今年で30年目。2023年度には、取り組みが認められてグッドデザイン賞を受賞しました。

自分らしくお米を食べる

産直米加工品

『直火炒め
チャーハン
(産直米)』

期間限定
パッケージ

『産直ごはん(パック)
秋田あきたこまち
200g×5』

「お米をたくさん食べたいと思ってもなかなかむずかしい」と思いがちですが、いつものランチやおやつに産直米を原料にした加工品を食べることでも、お米の生産者を応援することにつながります。

お米でサステナブルな畜産

飼料用米の使用

輸入飼料にできるだけ依存せず、飼料用米を使って家畜を育て、資源を循環させる「日本型畜産」。お米で育った畜産商品を選ぶことが、田んぼと地域の応援になります。

3 交流で超えてく

顔の見える関係を一歩先に進め、
誰もがワクワクする
「五感と記憶に残る」交流を育みます。

4 くらし方で超えてく

「私にいいが、世界にいい」を
共通の価値観に。
サステナブルで、心地いい、
健やかなくらしを楽しみます。

5 協同で超えてく

多様性を認めあい、
支えあいが広がっていく社会へ。
組合員活動を超え、
社会のアクションに変えていきます。

お魚食べよう

おいしく食べて、楽しく応援！

海に囲まれた日本に根付く、豊かな魚食文化。
魚のおいしさを未来に残していくためのアクションが
「お魚食べよう」です。後継者不足や漁獲量の変化など、
さまざまな課題に直面している今、
魚を「食べる」ことは何よりの水産業応援につながります。

魚や水産業を楽しく学ぶ

特設ページ

魚や水産業について、楽しみながら学べる特設サイト。お魚クイズなどのコンテンツや、魚を使ったレシピも紹介しています。

魚をおいしく手軽に食べる

水産加工品

『コア・フード野付の秋鮭
スモークサーモン』

『フライパンでまぐろの漬けカツ』

調理の手間を思うと敬遠しがちな魚も、骨とり済みやボイルするだけの商品なら無理なく食事に取り入れられます。水産加工品や海藻類の利用促進で水産業を応援します。

豊かな海を次世代へつなぐ

環境保全型漁業

サンゴの植え付けの様子

植樹の様子

海を取り巻く環境保全は、水産資源の持続に欠かせません。パルシステムは産地とともにサンゴの植え付けや植樹活動を実施。豊かな海や生態系を育みながら、環境保全型漁業に取り組んでいます。

パルシステム オリジナル商品（プライベートブランド）

パルシステムでは、独自の基準をクリアした商品のみを取り扱っています。なかでもプライベートブランドの商品は「商品づくり7つの約束」や「生活用品への6つの想い」をかなえるため、さらに厳しい基準をクリアしたもののみ。パルシステムはくらしに真に貢献できる商品づくりを追求しています。

パルシステム オリジナル商品の数 867

※2024年3月時点。産直青果を除く。米は100％産直米で、インターネット企画品等一部を除きほぼプライベートブランドです。

商品パッケージのロゴが目印 pal*system

注文のときは「pal」マークが目印 pal

商品づくり7つの約束

1. 作り手と「顔の見える関係」を築き、信頼から生み出された商品をお届けします。
2. 食の基盤となる農を守るためにも国産を優先します。
3. 環境に配慮し、持続できる食生産のあり方を追求します。
4. 化学調味料不使用で、豊かな味覚を育みます。
5. 遺伝子組換えに「NO!」と言います。
6. 厳選した素材を使い、添加物にはできるだけ頼りません。
7. 組合員の声を反映させた商品づくりを大切にします。

生活用品への6つの想い

1. 商品の成分や材質の基準を設けて、安心で安全な商品をお届けします。
2. 森林を育み、「森」「川」「海」の環境を守り、石けん運動を広めます。
3. 再生原料の利用を推進し、限りある資源を有効に活用します。
4. 文化や技の継承・発展、国産のものづくりを応援します。
5. 「もの」を長く使い続ける良さを伝えます。
6. 組合員の声を反映させた商品づくりを大切にします。

遺伝子組換えに「NO!」

組合員の「選ぶ」を守るためのマーク表示

海外で広がり続けている、遺伝子組換え作物の栽培。自然界への影響などが問題視されていますが、私たちの気付いていないところにも使われているのが現状です。パルシステムはそんな状況に「NO!」の姿勢で、生産者やメーカーとともに商品づくりに取り組みます。

『圧搾一番しぼり菜種油』

遺伝子組換え表示制度の改正にともない、カタログのマーク表示も変更しました。

- GMO不使用 — 不使用
- GMOにNO! — GMOにNO!（食品）
- GMOにNO! — GMOにNO!（飼料）
- GMO副不分別 — 副原料不分別
- GMO不分別 — 不分別

ほしいをカタチにプロジェクト（組合員開発協力）

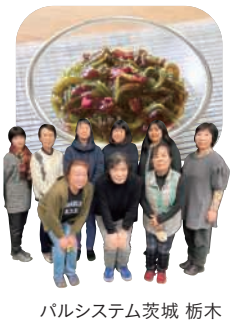
組合員が商品の開発・改善に協力

組合員参加の商品開発チームやインターネットのモニターなど、一人ひとりのくらしのなかから生まれる声を大切に、組合員と作り手、パルシステムが一体となって作ったのが「ほしいをカタチにプロジェクト」商品です。メンバーが集まり話し合いや試作を重ねるほか、オンラインでも活動を行っています。

組合員開発協力商品の数 138 組合員開発

※2024年3月時点。

『ちゅるっと味付け海藻ミックス』



パルシステム茨城 栃木「チュルっとめかぶもずく」のみなさん（活動当時）

「作る」と「食べる」がともに支え合う

パルシステムの産直四原則

以下の4つの約束を結んだ「産直産地」から農産物をお届けします※。

1. 生産者・産地が明らかであること
2. 生産方法や出荷基準が明らかで生産の履歴がわかること
3. 環境保全型・資源循環型農業を目指していること
4. 生産者と組合員相互の交流ができること

※天候不順やその他の事情などで産直産地商品がやむを得ず調達できない場合、協力関係にある市場や取引先より代替品を調達し供給することがあります。

水産、森林、海外にも広がる産直

パルシステムでは水産方針を策定し、14産地と水産物の持続的な利用事業や運動に取り組み、“水産の産直”を行っています。また、持続可能な森づくりに貢献するため、2産地と「森の産直」を推進。国際的にも提携の12産地と国内同様の取り組みを進めています。

産直の精肉、水産産直の商品数

230 産直

※2024年3月時点。

うなぎの産直産地大隅地区養まん漁業協同組合

農薬削減の独自基準

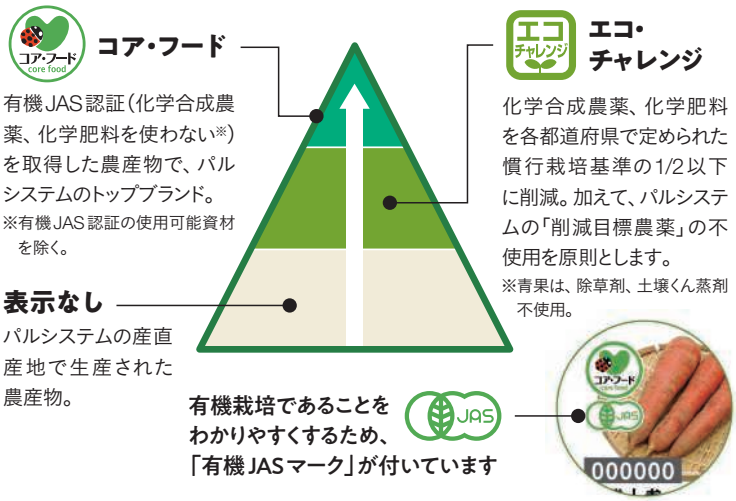
1998年から、毒性の高い農薬を避けながら農薬の総量を削減することを目的とした「農薬削減プログラム」に生産者と組合員が一体となり取り組んできました。「エコ・チャレンジ」「コア・フード」という独自の基準を設けて運用し、さらに産直産地では堆肥や有機質肥料を積極的に使うことで、資源循環にも貢献しています。

コア・フードの商品の数

115

※2024年3月時点（農産、畜産、水産、加工調味料を含みます）。
「コア・フード」青果は商品名称を「有機」に変更しました。

ジョイファーム小田原の生産者



産地と食卓をつなげる

「つくる人」と「食べる人」のつながりを大切にし、食や自然、生産者との交流を通じて産地の魅力が体験できる「産地交流」を行っています。組合員が直接産地に足を運ぶほか、コロナ禍からオンラインでの交流も実施。さまざまな形で作り手と食べ手の顔の見える関係を築き続けています。

有機の田んぼで生きもの観察

加工食品にも産直原料を使用

加工食品にも国産原料を優先して使用。なかでも“顔が見える”“栽培方法がわかる”産直原料を積極的に採用し、環境や安全性に配慮した持続可能な食づくりに携わる生産者、メーカーを応援しています。

産直原料使用商品の数

681 産直原料

※2024年3月時点。

『産直野菜で作った糖しぼり大根』

日本型畜産

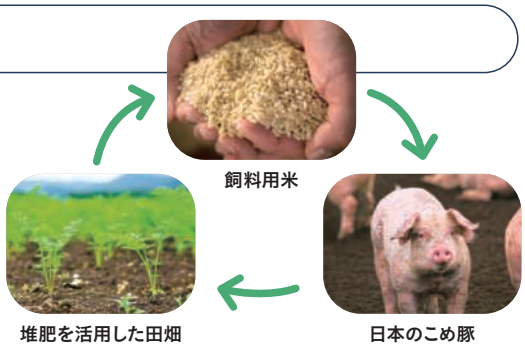
国産飼料用米を活用した持続可能な畜産へ

日本の飼料自給率は25%（2019年度）と輸入飼料に頼っているなか、畜産飼料に国産の飼料用米を配合する取り組みを実施。飼料用米で育った豚や鶏の畜産商品や、それを生かした加工品には、お米配合率をマークで表示しています。

飼料用米を活用する畜産・畜産加工商品の数

53 ※2024年3月時点。

お米10　お米20　お米40



プラスチック削減

プラスチックごみの削減と資源循環型社会の構築をめざし、今まで当たり前に使用していたプラスチックトレーをやめたり、パッケージ袋に再生原料を使用するなど、より環境負荷を低減するよう進めています。組合員がエコな商品を選べるように、「プラ削減」マークを付けています。

プラ削減
マークが
付いている商品数
625
※2024年3月現在。

『ナチュライス
純米こうじ配合
化粧液N　150ml』

『有機栽培の
産直抹茶入り
玄米茶　200g』

オフサイトPPAによる電力取引を開始

鶏ふんを利用したバイオマス発電を展開する十文字チキンカンパニーとパルシステム電力、パルシステム連合会の3者は2023年7月から、オフサイトPPAに基づく電力取引を開始しました。オフサイトPPA（Power Purchase Agreement＝電力購入契約）は、発電事業者と電力利用者が中長期にわたる購入を契約する仕組み。長期契約で購入することにより、価格変動リスクを軽減し安定した電力供給が可能となります。今後は、パルシステムグループの各生協事業所や、一般家庭の利用へも対象拡大を検討します。

十文字チキンカンパニーの
バイオマス発電所

食品ロス削減

家庭で食べ残し廃棄を出さないことに挑戦する「食べ残しゼロ7日間チャレンジ」を実施。の べ12,046人 が4.49tの 食品ロスを削減しました。

※1：環境省「令和3年度 市区町村食品ロス実態調査支援 報告書」の結果を参考にして、1人当たりの1日の食べ残し量を24.8gとして、みなさんのチャレンジ結果をもとに算出。

3Rの推進

「リデュース（発生抑制）」、「リユース（再使用）」、「リサイクル（再生利用）」の3R活動を、「配送と回収」という生協ならではの仕組みを生かしながら行い、環境負荷低減に取り組んでいます。

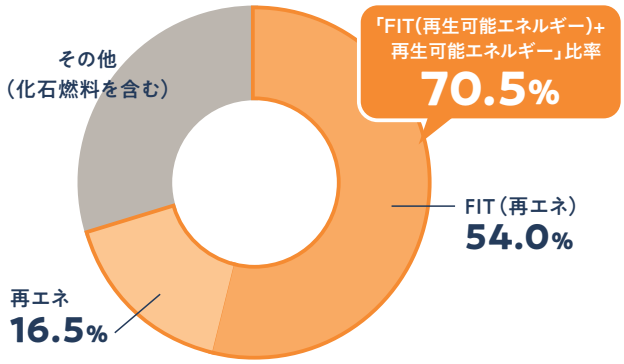
小型ヨーグルトカップの回収を始めました

再生可能エネルギー

持続可能な社会の実現をめざして、FIT電気（再生可能エネルギー）中心の電気をお届けしています。自然の力を利用して電気をつくる「発電産地」の多くは、パルシステムの野菜や肉、米などを作る産直産地です。

二本松有機農業研究所

パルシステムでんき 電源構成（2023年度実績）



持続可能なパーム油の生産

世界中で消費が急上昇しているパーム油。インドネシアやマレーシアを中心に農園開発が進み、生物多様性の喪失や労働者の権利侵害といった問題が起きています。パルシステムでは持続可能性に配慮して生産されたパーム油への切り替えを推進。コロンビアの産直提携産地「テケンダマ社」では、土づくりから栽培管理、抽出、精製まで一貫生産し、自然の循環を生かした農法を実践しています。

アブラヤシの収穫風景

令和6年能登半島地震緊急支援募金

1月に発生した、石川県能登地方を震源とした地震では、多くの方が大きな被害を受けました。パルシステム連合会は2024年1月に「令和6年能登半島地震緊急支援募金」を呼びかけ、のべ17万人を超える方から2億6,177万4,483円が寄せられました。募金は、長期的な被災者支援を予定する9団体へ寄贈するほか、被災した生産者など7団体への見舞金、被災者への義援金として活用します。

2024年4月18日に寄付先のひとつ、JAのとを訪問し、目録を手渡しました

令和6年能登半島地震緊急支援募金

2億6,177万4,483円

市民による地域活動を支援する助成制度

誰もが安心してくらせる社会をつくるために、市民レベルのつながり強化で課題解決に取り組む団体を支援しています。2023年度は、グループ9組織が運用する11の助成制度で208団体に5,236万6,270円を助成しました。助成金は組合員のみなさんがパルシステムの商品やサービス、共済などの事業を利用することで生まれた剰余金をもとに運用されています。パルシステムはこれからも、市民による活動団体や生産者、取引先のみなさんとの連携を強め、誰一人取り残されず活躍できる社会づくりをめざしていきます。

親子の情操教育支援から、障がいの有無に関わらずともに活動し協力しあう社会をめざし活動する「うりんこくらぶ」。写真は「手作り味噌仕込み」イベントの様子

助成団体による「地域づくり基金」の取り組みを通じた組合員交流の様子

2023年度の実績

208団体　5,236万6,270円

パルシステム給付型奨学金事業

学びの意欲をもちながらも家庭環境や経済的な事情から進学が困難な若者に対し、毎月4万円を在籍する教育機関の所定就学期間終了まで支給。実質的な借金として将来の負担となる貸与型ではなく、返済不要の給付型で、さらに支援団体による生活・進路相談といったサポートが得られる「伴走支援」があるのも大きな特長です。奨学金はすべて組合員募金でまかなわれ、2023年度は約3万人の組合員から募金がありました。56人の学生に給付しています。

募金を呼びかけるチラシを組合員に配付

2023年度組合員募金総額

5,657万1,345円

居住支援

生活困窮者や単身高齢者、障がいのある人は住まいを確保しようとしても賃貸契約に至らないケースが多く、このような「住宅確保要配慮者」を支援する「居住支援」の役割は高まっています。また全国各地で「空き家」も増えており、住まいに困っている人とのマッチング等も大きな課題です。パルシステムは2019年に設立された「一般社団法人全国居住支援法人協議会」に参画。誰もが安心して生活できる共生の社会をめざしています。

原発事故被災者支援

2011年の福島第一原発事故直後から、地域や団体と連携し、被災者や避難者の方々を応援する活動に取り組んできました。組合員から寄せられた応援金は「保養活動」や「避難者支援」を行う支援団体の活動に役立てられています。

子どもの甲状腺検診を行う様子
（提供：NPO法人Annaka ひだまりマルシェ）

2023年度
東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金

883万6,677円

※ 別途パルシステム共済連寄付金（CO・OP共済《たすけあい》新規加入者数×50円）も加わり、活用されます。

組織情報

組織機構図

（2024年4月1日現在）

事業所

（2024年3月31日現在）

設立年月日	1990年2月9日	会員生協数	13会員	供給高	1,761.0億円
区域	宮城県／福島県／茨城県／栃木県／群馬県／埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県／新潟県／山梨県／長野県／静岡県				
本部所在地	〒169-8527　東京都新宿区大久保2-2-6　ラクアス東新宿	新治センター	〒300-4111　茨城県土浦市大畑192-1		
稲城事務センター（商品検査センター附設）	〒206-0804　東京都稲城市百村2111	八王子センター	〒192-0919　東京都八王子市七国3-55-1		
相模センター	〒243-0303　神奈川県愛甲郡愛川町中津4036-7	南大沢センター	〒192-0364　東京都八王子市南大沢3-21-1		
岩槻センター	〒339-0021　埼玉県さいたま市岩槻区末田942-1	大和田センター	〒192-0045　東京都八王子市大和田町4-6-3		
杉戸センター	〒345-0012　埼玉県北葛飾郡杉戸町深輪391-11	熊谷センター	〒360-0012　埼玉県熊谷市樋春字袋田1223-3		
板倉食品加工センター	〒374-0113　群馬県邑楽郡板倉町泉野2-41-8	相模青果センター	〒243-0303　神奈川県愛甲郡愛川町中津4081		
つくばみらいセンター	〒300-2417　茨城県つくばみらい市富士見ヶ丘1-11				

会員生協

（2024年3月31日現在）

会員生協	13会員（12生協1連合会）
会員組合員数	173.5万人
会員総事業高	2,541.0億円
配送センター	65カ所

職員の概況

（2024年3月31日現在）

区分		前期末数	当期末数	平均年齢	平均勤続年数
正規職員		400人	409人	43.8歳	13.2年
定時職員	総数	97人	87人	—	—
	正規換算数	59.5人	49.4人	—	—

役員・執行役員

（2024年6月24日現在）

	氏　名	
代表理事 理事長	大信　政一	パルシステム共済連合会　代表理事　理事長 パルシステム静岡　代表理事　理事長
副理事長	松野　玲子	パルシステム東京　代表理事　理事長
代表理事 専務理事	渋澤　温之	
常務理事	辻　正一	
常任理事	藤田　順子	パルシステム神奈川　代表理事　理事長
	髙橋　由美子	パルシステム千葉　代表理事　理事長
	樋口　民子	パルシステム埼玉　代表理事　理事長
	青木　恭代	パルシステム茨城 栃木　代表理事　理事長
	古家　滋子	パルシステム山梨 長野　代表理事　理事長
	反町　幸代	パルシステム群馬　代表理事　理事長
	池端　美雪	パルシステム福島　代表理事　理事長
理事	杉原　学	パルシステム東京　代表理事　専務理事
	杉村　剛是	パルシステム東京　業務執行理事
	西村　陽子	パルシステム東京　常任理事
	網野　拓男	パルシステム神奈川　代表理事　専務理事
	福岡　明	パルシステム神奈川　常務理事
	新村　里志	パルシステム千葉　代表理事　専務理事
	齋藤　和博	パルシステム千葉　業務執行理事
	森田　康生	パルシステム埼玉　代表理事　専務理事
	高橋　健司	パルシステム埼玉　管理管掌理事
	塚本　昭二	パルシステム茨城 栃木　代表理事　専務理事

	氏　名	
理事	志村　宏司	パルシステム山梨 長野　代表理事　専務理事 パルシステム静岡　専務理事
	髙橋　成秀	パルシステム群馬　代表理事　専務理事
	横田　敦実	パルシステム福島　代表理事　専務理事
	室崎　正徳	パルシステム共済連合会　代表理事　専務理事
監事	福澤　裕克	常勤監事 パルシステム共済連合会　監事 パルシステム群馬　監事
	岩田　一喜	員外監事（公認会計士）
	塩生　朋子	員外監事（弁護士）
	戸井田　直人	パルシステム東京　常勤監事 パルシステム共済連合会　監事
	上田　麻理子	パルシステム神奈川　監事
常務執行役員	馬渡　詳充	情報システム・商品管理統括　情報システム本部長（兼務）
	島田　朝彰	商品開発・産直事業統括　産直事業本部長（兼務）
執行役員	加藤　かおり	広報本部長
	西田　隆	商品管理本部長
	落合　誠士	管理本部長
	佐藤　健二	運営本部長
	野津　秀男	商品開発本部長
	横山　博志	事業本部長
	渡邊　たかし	企画政策本部長

連合会財務データ

貸借対照表

（2024年3月31日現在）（単位：千円）

	科　目	金　額
流動資産	現預金	22,046,011
	供給未収金	16,732,420
	商品	1,563,663
	その他流動資産	16,495,047
	流動資産　計	56,837,142
固定資産	建物及び構築物	10,634,599
	機械装置	2,155,688
	器具備品及び車両運搬具	447,763
	土地	12,049,022
	その他	2,639,810
	有形固定資産　計	27,926,884
	無形固定資産	2,731,518
	その他固定資産	6,419,468
	固定資産　計	37,077,871
資産合計		93,915,014

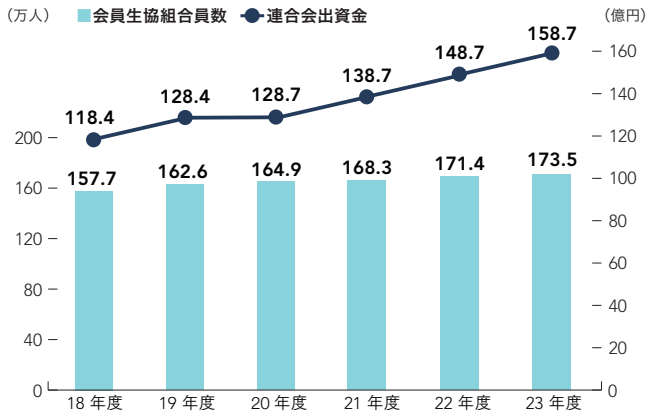
	科　目	金　額
流動負債	買掛金	29,362,209
	その他流動負債	25,309,389
	流動負債　計	54,671,598
固定負債	長期会員生協預り金	4,450,000
	その他固定負債	1,122,808
	固定負債　計	5,572,808
負債合計		60,244,407
会員出資金		15,875,600
剰余金	法定準備金	7,437,800
	その他積立金	9,055,979
	当期未処分剰余金	1,301,227
	剰余金　計	17,795,007
純資産合計		33,670,607
負債・純資産合計		93,915,014

損益計算書

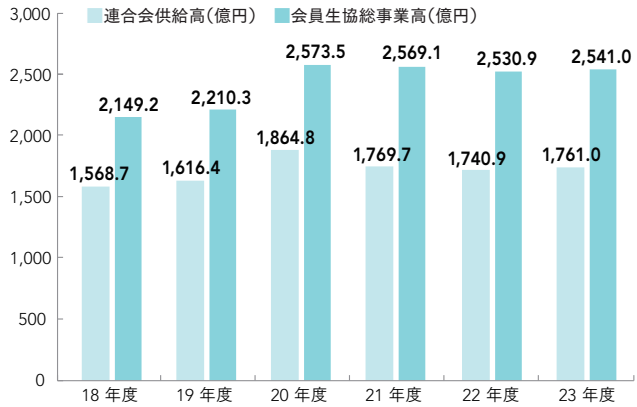
（自2023年4月1日 至2024年3月31日）（単位：千円）

供給高	176,105,169
供給剰余金	11,888,706
その他事業収入	18,972,508
事業総剰余金	30,861,214
事業経費	29,751,963
事業剰余金	1,109,251
事業外収益	181,109
事業外費用	57,538
経常剰余金	1,232,821
特別利益	58,298
特別損失	96,989
税引前当期剰余金	1,194,130
法人税等	320,808
法人税等調整額	15,530
当期剰余金	857,791
当期未処分剰余金	1,301,227

出資金および組合員数



供給高



パルシステムグループ情報

子会社概況

株式会社 パル・ミート

住所	〒275-0002 千葉県習志野市実　2-36-10
設立年月	1979年2月
資本金	80,000千円
出資比率	100%
事業内容	牛・豚等精肉加工、ハム・ソーセージ等加工、食品製造及び加工
代表取締役社長	島田 朝彰
社員数	正規社員／74人　定時社員等／314人
売上高	18,495,510
売上総利益	579,740
営業利益	90,657
経常利益	92,101
税引前当期純利益	90,412
法人税等	31,555
当期純利益	58,856　（単位：千円）

株式会社 パルライン

住所	〒135-0015 東京都江東区千石1-4-9
設立年月	1987年11月
資本金	95,000千円
出資比率	100%
事業内容	会員生協の配送業務及び個人別商品仕分け業務、商品案内・注文用紙等の印刷、帳合業務
代表取締役社長	太田 賜嗣夫
社員数	正規社員／688人　定時社員等／2,631人
売上高	11,045,486
売上総利益	811,623
営業利益	247,167
経常利益	260,674
税引前当期純利益	260,274
法人税等	84,327
当期純利益	175,947　（単位：千円）

株式会社 パルシステム・イースト

住所	〒302-0024 茨城県取手市新町2-6-4
設立年月	2000年9月
資本金	30,000千円
出資比率	（株）パルライン52%子会社
事業内容	会員生協の配送業務、基幹物流業務、園芸店及びサービス斡旋事業
代表取締役社長	塚本 昭二
社員数	正規社員／451人　定時社員等／63人
売上高	3,143,914
売上総利益	431,588
営業利益	88,439
経常利益	111,498
税引前当期純利益	101,922
法人税等	39,600
当期純利益	62,322　（単位：千円）

株式会社 パルブレッド

住所	〒192-0045 東京都八王子市大和田町4-6-3
設立年月	1997年11月
資本金	54,040千円
出資比率	100%
事業内容	パン及び菓子の製造
代表取締役社長	西田 隆
社員数	正規社員／84人　定時社員等／194人
売上高	4,285,204
売上総利益	474,091
営業利益	72,506
経常利益	75,980
税引前当期純利益	73,806
法人税等	25,684
当期純利益	48,122　（単位：千円）

株式会社 パルシステム・リレーションズ

住所	〒169-0072 東京都新宿区大久保2-3-4 出光新宿ビル8階
設立年月	2000年7月
資本金	200,000千円
出資比率	60%
事業内容	広報制作・企画立案及び通信販売業務、情報システム等の企画、設計、販売、保守業務
代表取締役社長	髙橋 宏通
社員数	正規社員／66人
売上高	5,056,000
売上総利益	845,253
営業利益	5,845
経常利益	5,910
税引前当期純利益	5,910
法人税等	2,764
当期純利益	3,145　（単位：千円）

株式会社 パルシステム電力

住所	〒169-0072 東京都新宿区大久保2-3-4 出光新宿ビル3階
設立年月	2003年3月
資本金	10,000千円
出資比率	53.4%
事業内容	電気事業、古紙等のリサイクル事業、再生可能エネルギー等の研究開発及び販売事業、環境推奨商品の販売
代表取締役社長	大安 さとる
社員数	正規社員／33人　定時社員等／35人
売上高	9,216,812
売上総利益	1,991,500
営業利益	1,350,832
経常利益	1,224,354
税引前当期純利益	1,224,354
法人税等	42,431
当期純利益	1,181,922　（単位：千円）

株式会社 パルシステム発電

住所	〒169-0072 東京都新宿区大久保2-3-4 出光新宿ビル3階
設立年月	2016年2月
資本金	20,000千円
出資比率	（株）パルシステム電力100%子会社
事業内容	発電事業、再生可能エネルギー等の研究開発及び販売事業等
代表取締役社長	大安 さとる
社員数	—
売上高	67,502
売上総利益	23,762
営業利益	15,889
経常利益	15,623
税引前当期純利益	15,617
法人税等	4,515
当期純利益	11,101　（単位：千円）

関連会社概況

株式会社 オルター・トレード・ジャパン

住所	〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-15 サンライズ新宿3階
設立年月	1989年10月
資本金	99,000千円
出資比率	36.4%
事業内容	食料品の輸出入・販売
代表取締役社長	山下 万里子
社員数	正規社員／20人
売上高	1,986,053
売上総利益	300,240
営業利益	107,256
経常利益	109,487
税引前当期純利益	109,657
法人税等	37,193
当期純利益	72,464　（単位：千円）

協力団体

パルシステム協力会

協力会は、取引先によって自主的に組織された会です。協力会会員（取引先）、パルシステム会員生協（組合員）、パルシステム連合会、パルシステム生産者・消費者協議会と活動しています。各部会活動をはじめ、イベントへの協賛、組合員を対象とする学習会や工場見学への協力、品質管理強化月間・歳末物流強化月間運動などに取り組んでいます。
＜325団体＞2024年4月現在

パルシステム生産者・消費者協議会

パルシステムに農畜水産物を供給する生産者と、連合会（子会社を含む）・会員生協・組合員がともに協議し、自主的に活動する会です。産直連続講座や青年農業者交流会、会員生協センター研修などを企画しています。
＜187団体＞2024年4月現在

一般社団法人くらしサポート・ウィズ

パルシステムから居住支援事業を受託した、住宅情報の提供などの支援を行う組織です。くらし相談ダイヤルなどのサービスを提供し、他団体と連携しながら住まい探しや住まい活用のご相談にのっています。

一般財団法人パルシステム若者応援基金

「パルシステム給付型奨学金」制度の運用を行う財団です。組合員募金による給付型の奨学金貸与の他、支援団体による生活・進路相談といったサポートが得られる「伴走支援」に取り組んでいます。

（財務データ：自2023年4月1日　至2024年3月31日／職員数：在籍数）

会員生協概況

生活協同組合パルシステム東京

住所	〒169-8526 東京都新宿区大久保2-2-6 ラクアス東新宿
設立年月	1970年4月
組合員数	532,465人
総事業高	86,314,544千円
出資金	22,188,267千円
職員数	正規職員／466人　定時職員等／1,302人
理事長	松野 玲子

生活協同組合パルシステム神奈川

住所	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-16　新横浜交通ビル
設立年月	2000年4月
組合員数	360,535人
総事業高	55,387,233千円
出資金	11,761,416千円
職員数	正規職員／318人　定時職員等／836人
理事長	藤田 順子

生活協同組合パルシステム千葉

住所	〒273-0005 千葉県船橋市本町2-1-1 船橋スクエア21 4階
設立年月	1976年10月
組合員数	267,798人
総事業高	35,750,464千円
出資金	10,470,570千円
職員数	正規職員／209人　定時職員等／573人
理事長	髙橋 由美子

生活協同組合パルシステム埼玉

住所	〒335-0005 埼玉県蕨市錦町2-10-4
設立年月	1951年5月
組合員数	225,193人
総事業高	32,323,483千円
出資金	9,336,236千円
職員数	正規職員／129人　定時職員等／497人
理事長	樋口 民子

生活協同組合パルシステム茨城 栃木

住所	〒310-0022 茨城県水戸市梅香2-1-39
設立年月	2000年3月
組合員数	140,308人
総事業高	18,162,805千円
出資金	6,985,211千円
職員数	正規職員／101人　定時職員等／133人
理事長	青木 恭代

生活協同組合パルシステム山梨 長野

住所	〒400-0051 山梨県甲府市古上条町225-1
設立年月	1962年4月
組合員数	58,410人
総事業高	7,863,753千円
出資金	2,620,374千円
職員数	正規職員／63人　定時職員等／96人
理事長	古家 滋子

生活協同組合パルシステム群馬

住所	〒370-0033 群馬県高崎市中大類町120－11
設立年月	2002年5月
組合員数	50,034人
総事業高	6,097,583千円
出資金	1,084,377千円
職員数	正規職員／88人　定時職員等／72人
理事長	反町 幸代

生活協同組合パルシステム福島

住所	〒972-8316 福島県いわき市常磐西郷町落合278
設立年月	1954年8月
組合員数	39,051人
総事業高	4,701,188千円
出資金	985,367千円
職員数	正規職員／36人　定時職員等／34人
理事長	池端 美雪

生活協同組合パルシステム静岡

住所	〒417-0801 静岡県富士市大淵2297-8
設立年月	2007年3月
組合員数	44,403人
総事業高	5,263,814千円
出資金	550,403千円
職員数	正規職員／30人　定時職員等／50人
理事長	大信 政一

生活協同組合パルシステム新潟ときめき

住所	〒950-1101 新潟県新潟市西区山田303-8
設立年月	2017年2月
組合員数	17,614人
総事業高	2,235,838千円
出資金	214,395千円
職員数	正規職員／20人　定時職員等／30人
理事長	瀬野 悦子

埼玉県勤労者生活協同組合

住所	〒332-0012 埼玉県川口市本町4-2-3
設立年月	1955年9月
組合員数	54,191人
総事業高	236,731千円
出資金	195,405千円
職員数	正規職員／5人　定時職員等／1人
理事長	柳川 聡一

生活協同組合あいコープみやぎ

住所	〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町3-4-17
設立年月	1979年8月
組合員数	17,015人
総事業高	3,292,483千円
出資金	1,254,438千円
職員数	正規職員／68人　定時職員等／98人
理事長	高橋 千佳

パルシステム共済連概況

パルシステム共済生活協同組合連合会

住所	〒169-0072 東京都新宿区大久保2-2-6 ラクアス東新宿
設立年月	2009年12月
会員数	11会員
経常収益	4,219,163千円
出資金	2,000,100千円
職員数	正規職員／42人　定時職員等／26人
理事長	大信 政一

株式会社 パルふれあいサービス

住所	〒169-0072 東京都新宿区大久保2-2-6 ラクアス東新宿
設立年月	1989年12月
資本金	30,000千円
事業内容	保険代理業
代表取締役社長	室崎 正徳
社員数	正規社員／8人　定時社員等／1人
手数料収入	179,185
営業利益	52,266
経常利益	52,312
税引前当期純利益	52,312
法人税等	17,279
当期純利益	35,032　（単位：千円）

沿革

1977年 首都圏生活協同組合事業連絡会議発足
共同商品開発・共同仕入事業開始
（15生協／常勤1名／初年度取り扱い高5,800万円）

1979年 （株）事業連畜産設立。精肉加工事業を開始

1981年 PB（独自開発）商品「こんせん牛乳」誕生

1983年 （株）事業連ハム設立。産直肉を使った無添加ハム・ソーセージの製造開始

1985年 共同購入商品案内・注文用紙統一、OCRシステム稼働

1987年 名称を首都圏コープ事業連合に変更
畜産事業を担う（株）事業連畜産と（株）事業連ハムを統合し、
（株）首都圏コープ（現（株）パル・ミート）に改称
配送及びセット業務の（株）コープ・アイ（現（株）パルライン）設立

1989年 保険事業の（株）コープふれあいサービス
（現（株）パルふれあいサービス）設立

1990年 生活協同組合連合会 首都圏コープ事業連合法人認可
「個配」の実験供給を開始

1992年 青果共同仕入事業の（株）ジーピーエス設立。青果の仕入物流をスタート

1993年 個配の取り組みを本格化

1994年 再利用ネットワーク設立参加。リユースびんでの供給・回収開始

1997年 （株）せいきょうのパン屋さん（現（株）パルブレッド）設立

1999年 the ふーど（現コア・フード）商品の取り扱い開始

2001年 リサイクルセンター開設
インターネット受注「オンラインパル」運用開始
ライフステージ別商品案内を導入

2002年 生協パル群馬（現パルシステム群馬）が加入

2003年 環境事業の（株）エコサポート（現（株）パルシステム電力）設立

2004年 渋川市生協（現パルシステム群馬）が加入

2005年 パルシステム生活協同組合連合会へ名称変更

2006年 いわき市民生協（現パルシステム福島）が加入

2007年 パルシステム静岡が加入

2009年 パルシステム共済生活協同組合連合会設立

2011年 パルシステムサービスセンター開設

2014年 あいコープみやぎが加入

2016年 （株）パルシステム電力が電気の小売事業を開始

2017年 新潟ときめき生協（現パルシステム新潟ときめき）が加入
パルシステム板倉食品加工センター開設
第1回「ジャパンSDGsアワード」で、SDGs推進副本部長（内閣官房長官）賞を受賞

2020年 パルシステム熊谷センター開設

2021年 （株）ジーピーエスの事業をパルシステム連合会に統合
東部エリアの物流を担う（株）パルシステム・イースト事業開始

2023年 （一財）パルシステム若者応援基金設立

2024年 パルシステムつくばみらいセンター開設

パルシステム生活協同組合連合会

東京都新宿区大久保 2-2-6 ／ TEL：03-6233-7200（代表）

https://www.pal-system.co.jp/

表紙のイラストは長場 雄さんによるアートワークです。

2024.07

パルシステムの サステナビリティ

この毎日の先に
ちゃんと明日があるように

すべての人や自然、地域と支え合いながら、誰もがくらしやすく、ともに生きられる社会をめざした取り組みを紹介しています。

こちらから
ご覧いただけます

パルシステム×SDGs

パルシステムの前身が1970年代に誕生して以来、商品を取り巻く背景や課題を組合員とともに考え、持続可能な社会をめざしてきました。
その取り組みが評価され、2017年には第1回「ジャパンSDGsアワード」でSDGs推進副本部長（内閣官房長官）賞を受賞。
今後も「商品供給」「共済・保険」「電力」「総合福祉」の事業を通じてパルシステム2030ビジョンの実現に向けた取り組みをすすめ、SDGsにも貢献していきます。

パルシステムは
第1回「ジャパン
SDGsアワード」を
受賞しました

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

パルシステムのSDGsの取り組みについて、こちらからPDFでご覧いただけます